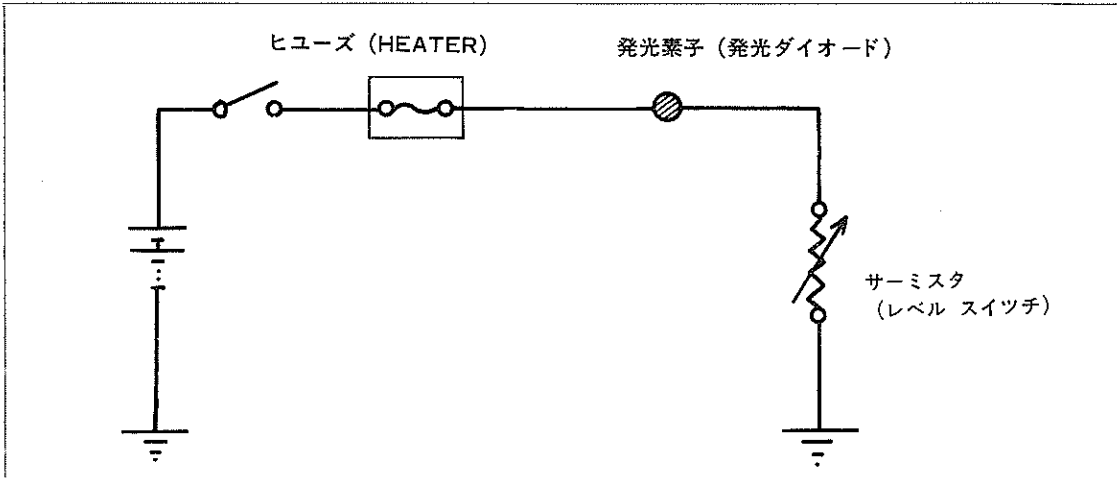


6 燃料残量警告灯

作 用



第6-1図 燃料残量警告灯回路図

S3574

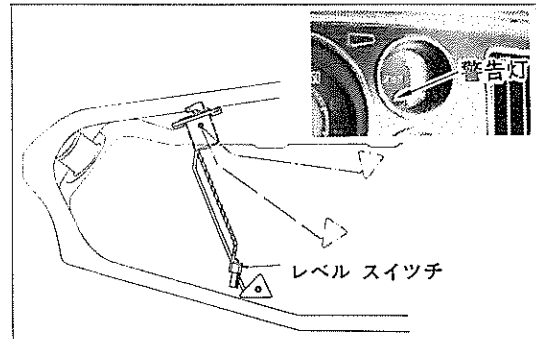
フューエル タンクのガソリン 残量が約10ℓ になると、レベル スイッチが ON になり発光素子 (発光ダイオード) が点灯します。

レベル スイッチ はサーミスタでできており、ガソリン 中にあるときはスイッチの熱放散が大きくなり、サーミスタの抵抗も大きくなります。よって回路には微電流しか流れず、発光素子は点灯しません。

レベル スイッチ が空気中に露出すると、熱放散が小さくなり、サーミスタの温度が上がって、抵抗値が小さくなります。よって回路に流れる電流が増え、発光素子が点灯し、燃料残量を警告します。

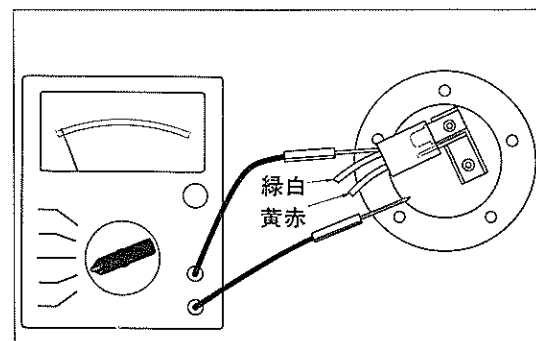
点 検

- 1 タンクのガソリンを抜く。
- 2 イグニッション スイッチをONにする。
- 3 レベル スイッチ端子電圧を測定する。
約5～6V
- 4 ガソリン を10ℓ 以上入れたとき レベル スイッチ端子の電圧を測定する。
約11～12V



第6-2図 警告灯レベル スイッチ

S3575 C3563



第6-3図 レベル スイッチ点検

S3576